

4. 肝がん

○

○: 専門とするがん ×: 診療を実施していないがん
 ※別紙5に入力した内容が反映されています。
 ※診療を実施していないがんについて、表の記載は不要

集学的治療・標準的治療の提供体制
 ○: あり ×: なし

No.	当該疾患の診療を担当している診療科名と医師数			治療の実施状況 (○: 実施可 / ×: 実施不可) / 昨年の実績 (あり/なし) ※平成25年1月1日～12月31日							各診療科における当該疾患の治療の特色・患者さんへのメッセージなど	当該疾患の治療に関する内容が掲載されているページ					
	主な診療科名 (5診療科まで)	医師数	当該疾患を専門としている医師数	手術	化学療法	穿刺療法		TACE/TAE	放射線療法			ページの見出しとアドレス ※トップページ以外を2つまで記載してください ※アドレスは、手入力せずにホームページからコピーしてください	掲載されている内容				
						RFA	PEIT		体外照射	定位放射線療法			治療内容	治療実績	医師の専門分野		
1	外科	6	1	状況 実績	○ あり	○ なし	× なし	× なし	× なし	× なし	× なし	希望者には病名・症状の告知を行ない、早い段階から化学療法と緩和医療を行なっています。	ア イ	外科の特徴 http://www.phospital.or.jp/contents/gNavi1/snk.html#s08 http://	掲載あり	掲載なし	掲載あり
2	消化器内科	5	5	状況 実績	× なし	○ あり	○ あり	○ あり	○ あり	× なし	× なし	ガイドラインに沿って、集学的な治療を行なっています。	ア イ	消化器内科の特徴 http://www.phospital.or.jp/contents/gNavi1/snk.html#s01_1 http://	掲載あり	掲載なし	掲載あり
3				状況 実績									ア イ	http:// http://			
4				状況 実績									ア イ	http:// http://			
5				状況 実績									ア イ	http:// http://			

昨年の治療実績ありの疾患名 ※平成25年1月1日～12月31日	例: 肝がん 肝がん、転移性肝がん
------------------------------------	----------------------